

県民協働の取り組み自己チェックシート（振り返り後）

基本項目

記入者氏名：笠原（警務課、0952-24-1111(2642)） 田口（佐賀ボイス、0952-41-2514）

事業名：被害者支援協働推進事業

事業内容： 警察が行う被害者支援活動とは別に、民間被害者支援団体に電話やメールによる相談活動、付き添い等の直接支援、相談員等に対するスーパービジョン等の被害者支援業務を委託し、官民が協働して被害者支援の充実を図る。

行政担当課：警察本部警務部警務課

CSO名： 特定非営利活動法人被害者支援ネットワーク佐賀VOISS（ボイス）

協働はいつ開始されましたか。

1. 予算案作成前から 2. 予算決定後、企画の段階から 3. 実施段階から  
4. その他（ ）

協働の呼びかけは、どちらからですか。

1. CSO 2. 行政 3. その他（ ）

協働の形態は何ですか。

1. 協働型委託 2. 共催 3. 補助 4. 後援 5. 事業協力

県民協働のコーディネーターは同席しましたか。

1. 同席した 2. 同席していない（理由 行政とCSOが常時連携を図っている。）

振り返り（評価）項目

行政

CSO

計画段階

1. 事業の目的を明確にし、共有しましたか。	はい	はい
2. 成果目標を明確にし、共有しましたか。	はい	はい
3. 県民のニーズについて話しあい、反映されていますか。	はい	はい
4. 協働の理由は明確ですか。	はい	はい
5. ふさわしい協働の形態が検討されましたか。	はい	はい
6. 協働する相手を選ぶ手法は適当でしたか。 当初から決まっている場合：当該団体の専門性が事業に必要なため 当初から決まっていない場合：同事業を専門的に実施している県内唯一の団体であるため	はい	はい
7. 相互を理解し、対等な関係を築けましたか。	はい	はい
8. この事業についての事業計画、収支計画をともに作りましたか。	はい	はい
9. 協働する期間をともに考えましたか。	はい	はい
10. 役割分担を明確にしましたか。	はい	はい

計画段階で記すべきコメントがあればここに記入してください。

実施段階

1. 役割分担をともに共有し、果たしましたか。	はい	はい
2. 進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	はい	はい
3. 課題の発生には、お互い連絡しあい、素早く対応しましたか。	はい	はい
4. 事業の修正は、お互いに十分議論し、柔軟に対応しましたか。	はい	はい
5. 事業内容の報告をつくり、公開しましたか。	はい	はい

実施段階で記すべきコメントがあればここに記入してください。

- ・ ホームページ等を活用して、ボイスの活動内容等について広く一般に広報するように努力していきたい。（CSO）

成果の把握			
1. 成果目標は達成できたか、お互いに話し合いましたか。		はい	はい
2. 成果目標は達成できましたか。		はい	はい
成果の把握において、記すべきコメントがあればここに記入してください。 ・ 初めて県くらしの安全安心課、県警、佐賀ボイスの3者共催という形で開催した被害者支援フォーラムでは、計画段階から何度も話し合いを重ねお互いの意思疎通を十分に図り、各機関が協力連携して支援の輪を広げることができた。(行政、CSO)			
課題の抽出			
1. 今後の課題をお互いに話し合いましたか。		はい	はい
課題の抽出において、記すべきコメントがあればここに記入してください。 ・ CSOの財政及び人的基盤の強化(行政) ・ CSOの存在及び活動の県民へのさらなる周知(行政、CSO)			
改善案の作成			
1. 改善案をお互いに話し合い、作成しましたか。		はい	はい
<改善案内容のポイント> ・ 問題が発生した際には、お互いに連携を取り、意見を出し合いながら問題解決を図った。(行政、CSO)			
2. 今後の官民の役割分担を明確にしましたか。		はい	はい
改善案の作成において、記すべきコメントがあればここに記入してください。 ・ 随時話し合いを行ったが、書類作成には至っていない。(行政、CSO)			
総合評価			はい
自由意見 ・ 県警からの多くの賛助金等により、財政基盤の強化を図ることができた。 同財政を有意義に利用し、人的基盤の強化を図って、犯罪被害者等早期援助団体の公安委員会指定が受けられるように努力していきたい。(CSO)			

振り返り(評価)の各項目に「はい」、「いいえ」、「わからない」のいずれかを記入してください。